



2020年8月 あおやぎ保育園

暑い季節がやってきました。暑さに負けず元気に水遊びや、どろんこ遊びをする子どもたちの姿がみられます。暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分補給には十分に気を配り、たくさん遊んだ後は、おうちでもゆっくりと過ごし、しっかりと疲れをとるようお願いいたします。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ほう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ほうができ、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。



流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

皮膚トラブルの予防のために

汗をたくさんかく夏場に、皮膚トラブルを起こさないようにするには、細やかなケアをするように心がけましょう。

室内ですぐす時には



窓を開けて風通しをよくし、涼しくすごせるようにします。昼寝の時などもエアコンや扇風機を上手に利用しましょう。また、汗をかいた時は、こまめにシャワーで流すか、冷たいタオルでふきます。着がえや皮膚の保湿も忘れずに。

屋外ですぐす時には



帽子を忘れずにかぶります。また、日焼け止めも上手に利用しましょう。外遊びの時には、日陰で休憩する時間をとります。また、夏場の午前10時～午後2時は気温も高く、紫外線量の多い時間帯ですから注意します。

新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加傾向で油断を許さない状況が続いています。子ども達や保護者の方、職員の安全を守るため、引き続き手洗い・うがい・消毒などの感染防止にご協力をお願いいたします。